

感染症ミニレター

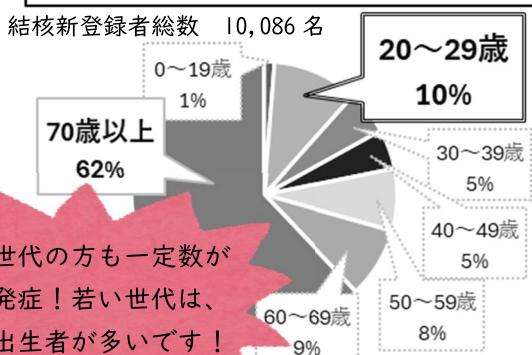
～日本もようやく低蔓延国入りしましたが、まだまだ要注意です～

編集/発行 令和7年11月20日
兵庫県伊丹健康福祉事務所
(保健所) 健康管理課

TEL 072-785-2371
FAX 072-777-4091

今でも年間1万人以上が結核を発症しています！！

結核新登録患者の年齢別割合(2024)



若い世代の方も一定数が
結核発症！若い世代は、
外国出生者が多いです！

伊丹・川西・猪名川で2024年に結核に感染していると
診断された方48名のうち、外国出生患者は15名(31%)
でした！そのほとんどが20代で、入職時健診で判明し
ています。

～職場でできる5つのこと～結核予防会より

- Action ① 雇い入れ時の健康診断の実施
- Action ② 定期健康診断での胸部X線検査の実施
- Action ③ 精密検査が必要な者のフォローアップ
- Action ④ 体調不良者の発見と受診・相談体制の整備
- Action ⑤ 免疫力を高める生活環境づくり

Action①～④の重要性を再確認した事例紹介

患者A氏：20歳代。女性。アジア某国出身の技能実習生。日本語勉強中。

入職時健診、異常なし。 → Action ①

X月 職場健診で要精密検査の判定。結果が返ってくるも

日本語がわからず、内容を確認せず仕事を続ける。

→ Action ②, ③に関連

X+8月 咳が出現し、病院を受診したいが…

結局、受診はせず、咳止めの飴で対応。

→ Action ③, ④に関連



A氏「どの病院に行けば良いか
わからない…。仕事を休んだら
辞めさせられるかも…。
お金もないし…。不安。」

X+10月 咳が止まらなくなり、血痰も出現。職場の同僚が見かねて、

呼吸器内科へ受診付き添い。

胸部X線検査を受け、結核疑い。喀痰検査実施し、排菌を確認。
肺結核と診断。



周囲へ感染性のある結核のため、入院し、治療開始。

その後、保健所から接触者調査が行われた結果、スタッフへの健診が行われ、スタッフ数十名の結核感染が判明。スタッフは受診後、予防内服開始。

X+12月 A氏退院。退院後は、同僚の受診サポートや保健師の服薬確認を受けつつ、治療継続。診断から6か月経過し、治療終了となった。

対策について、
詳しくはこちらから↓

「結核を広げない！
職場でできる結核対策」
結核予防会ページ



発見が遅れると、
周囲へ広げる可能性
も高くなります。
Action①～④は
とても大切ですね！



有症状時は早めに受診し、健診にて要精密検査判定となつた
方には必ず受診してもらうよう徹底をお願いします！

